

海岸防潮堤等整備に関する市民説明会及び意見交換会  
(鶴ヶ浦～大浦～浜町、鹿折川河口～万行沢橋)

■日時 平成24年7月13日(金)18:30～

■参加者 約120名

■主な意見

※ 気仙沼土木事務所が管理する河川施設へは次のような意見が出されました。

- ・周辺に堤防ができると津波の影響で鹿折川に集中し、東八幡大橋よりの上流で溢れるのではないかと。  
→東八幡大橋までは津波対応で、それより上流は通常の断面改修事業で対応する。
- ・堤防の高さは、過去の文献等からそれほど高くないのではないかと。  
→堤防の高さは、せり上がりと沈下等を考慮したシミュレーションで設定している。
- ・国道45号から浪板までの区間で幅20～30mの堤防が出来ると背後の道路はどうするのか。  
→道路については堤防の上になるか、並行になるかはまちづくりとも関係するので今後調整していきたい。

※ 他の海岸管理者に対しては次のような意見が出されました。

- ・船の航跡波への対処はどうするのか。
- ・鶴ヶ浦漁港での防潮堤の高さはどうなるのか。昨年の津波被害もあまりなかったのに高すぎるのではないかと。
- ・コンクリートの耐用年数はどれくらいか。
- ・浮上式防波堤を内湾でなくより沖にすれば、その内側の防潮堤はいらなくその分コストが浮くのではないかと。

